

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(五大石油会社の業績比較: <http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>)

(ブログ「石油と中東」: [https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki\\_1943](https://blog.goo.ne.jp/maedatakayuki_1943))

マイライブラリー: 0475

(注)本稿は 2019 年 8 月 5 日から 13 日まで 6 回に分けて「ブログ・石油と中東」に掲載したレポートをまとめたものです。

2019.8.15  
前田 高行

### 五大国際石油企業2019年4-6月期決算速報

スーパーメジャーと呼ばれる五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)の4-6月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益(総合、上流部門、下流部門)、売上高利益率、設備投資および石油・天然ガス合計生産量について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の四半期決算の推移を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。

ExxonMobil:

<https://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-31-billion-second-quarter-2019>

Shell:

<https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2019/second-quarter-2019-results-announcement.html>

BP:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/second-quarter-2019-results.html>

Total:

<https://www.total.com/en/media/news/press-releases/second-quarter-and-first-half-2019-results>

Chevron:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-reports-second-quarter-net-income-of-4-3-billion>

なお過去の四半期業績及び2010年から2018年までの通年の業績比較は下記レポートを参照されたい。

<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>

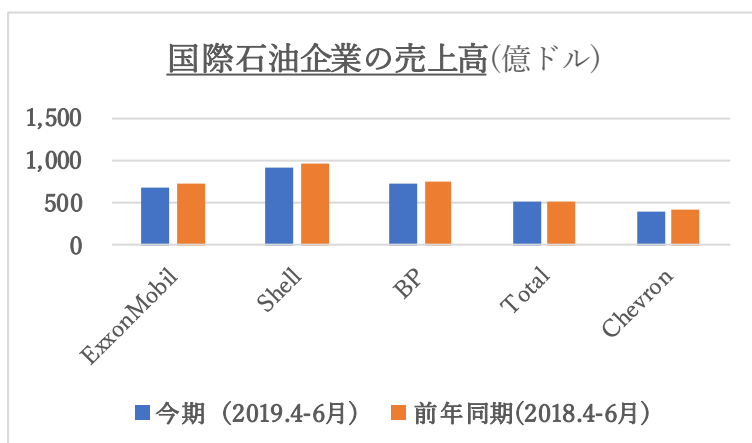
#### 1. 五社の4-6月期業績比較(末尾表 1-D-4-22 参照)

五社を横並びで比較すると売上高及び天然ガス生産量では Shell がトップである。一方、設備投

資、原油生産量および原油と天然ガスを合計した生産量の各部門では ExxonMobil が、また総合利益、上流部門利益及び売上高利益率は Chevron が、下流部門利益は BP がそれぞれトップである。売上高は五社すべてが前年同期を下回っており、総合利益では Chevron のみ前年同期を上回ったものの、他の四社は20～50%の減益となっている。原油生産量では ExxonMobil がずば抜けて大きく、一方天然ガス生産量では Shell だけが100億立方フィート/日を突破しており他の4社を引き離している。

(トップを独走する Shell、前年同期比では5社全てが減収！)

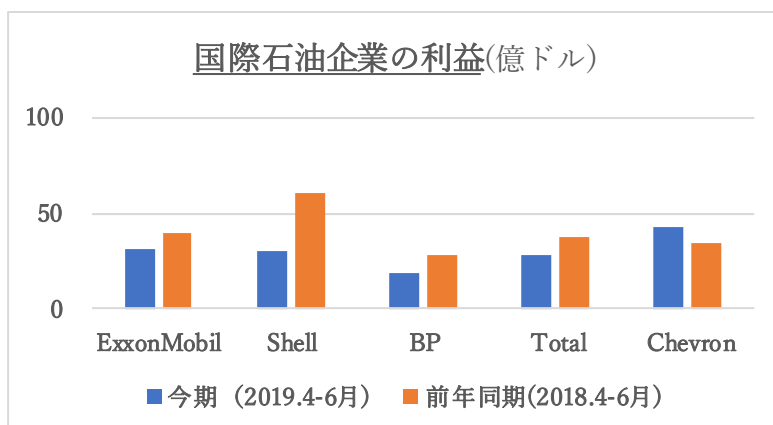
### (1) 売上高(末尾表 1-D-4-22 参照)



2019年4-6月の売上高は五社すべてが前年同期比で減収となった。各社の原油・天然ガス生産量は前年同期に比べいづれも増加しており(本稿下記参照)、代表指標原油 Brent の今期の平均価格は昨年同期と大きく変わっていない。このことから減収の要因は上流部門ではなく下流部門にあると考えられる。

各社の売上高は Shell が918億ドルと最も多く、次いで BP が727億ドル、ExxonMobil 691億ドル、Total 512億ドルである。Chevron は5社の中で売上高が最も少ない389億ドルであり、トップの Shell の4割強にとどまっている。また各社の対前年同期の増減益幅は、Shell 5.1%減、BP 3.7%減、ExxonMobil 6%減、Total 2.5%減、Chevron 8%減であった。

### (2) 総合利益

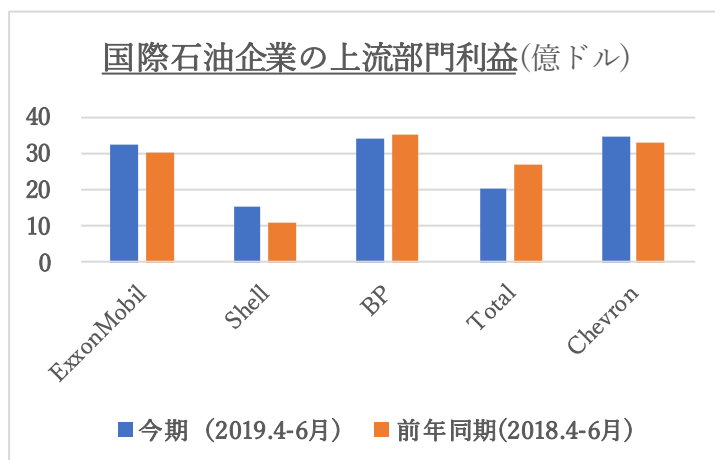


総合損益では5社全てが利益を計上している。しかし前年同期と比べると増益は Chevron 一社だけであり、他の4社は減益となっている。利益額が5社の中で最も大きいのは Chevron の43億ドルであり前年同期比26%増である。Chevron に次いで利益が多いのは ExxonMobil の31億ドルである

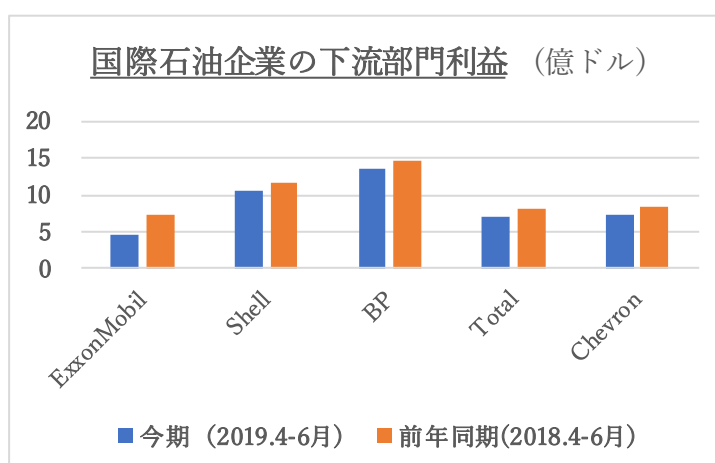
が、前年同期比では21%の減益である。Shell は ExxonMobil とほぼ同額の30億ドルの利益を計上しているが、前年同期の2分の1にとどまっており、5社の中では利益の減少幅が最も大きい。Total の利益は28億ドル(前年同期比26%減)であり、BP は五社の中で最も少ない18億ドル(前年同期

比35%減)にとどまった。

### (3) 上流部門と下流部門の利益



ExxonMobil は6~7%の増加にとどまっている。これに対してBP は3%の微減、Total は25%の大幅減少である。



するといずれも減益であり減益幅はExxonMobilが38%減、その他4社の減益幅は6~13%であった。

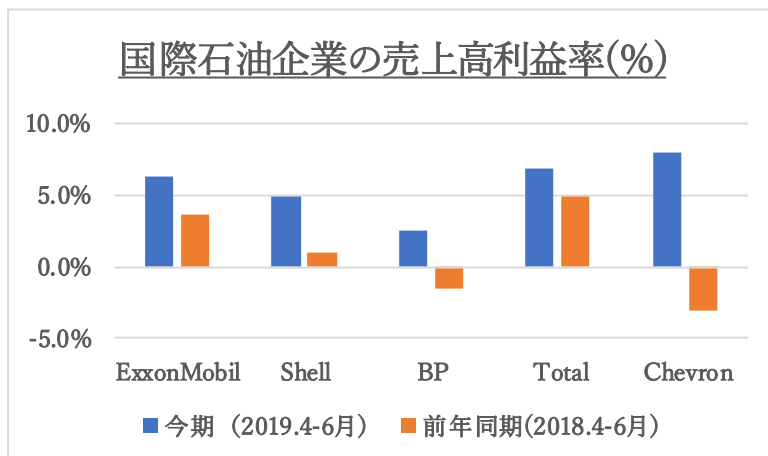
歴史的に見ると五大国際石油企業は2014年に原油価格が100ドルを超えるまで上流部門の利益が下流部門を上回る時代が長く続き、その後一転して原油価格が暴落した2015~17年は下流部門の利益が上流部門を上回った。そして原油価格が高値安定している現在は再び上流部門の利益が下流部門より多くなっている。

なお上記(2)総合損益は各社によって石油化学品部門あるいはその他の損益を含むため上・下流部門の利益の合計額とは一致しないケースがある。

利益を上流部門(石油・天然ガスの開発生産分野)と下流部門(石油精製および製品販売分野)に分けて比較すると、まず上流部門ではChevron(35億ドル)、BP(34億ドル)及びExxonMobil(33億ドル)の3社が30億ドル台の利益を計上して並んでいる。Total及びShellはそれぞれ20億ドル及び16億ドルである。前年同期と比較するとShellは42%の大幅増であったが、Chevron及び

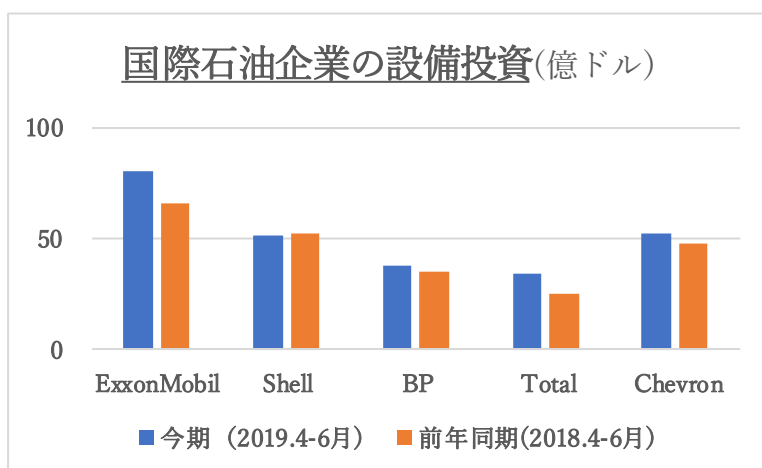
下流部門は各社とも上流部門に比べ利益水準が低く、トップのBPでも14億ドルである。これは上流部門で利益が最も少ないShellの16億ドルを下回っている。BPに次ぐのがShellの11億ドルであり、二桁台に利益を計上したのは2社だけである。この2社に続いてChevron及びTotalが7億ドル台の利益を計上、最も少ないExxonMobilの利益は4.5億ドルであった。前年同期と比較

### (3) 売上高利益率



売上高利益率は Chevron が 11.1%と最も高く、Total 5.4%、ExxonMobil 4.5%、Shell 3.3%と続いており、利益率が最も低いのは BP の2.5%である。前年同期に比べると、Chevron を除く4社の利益率は低下している。

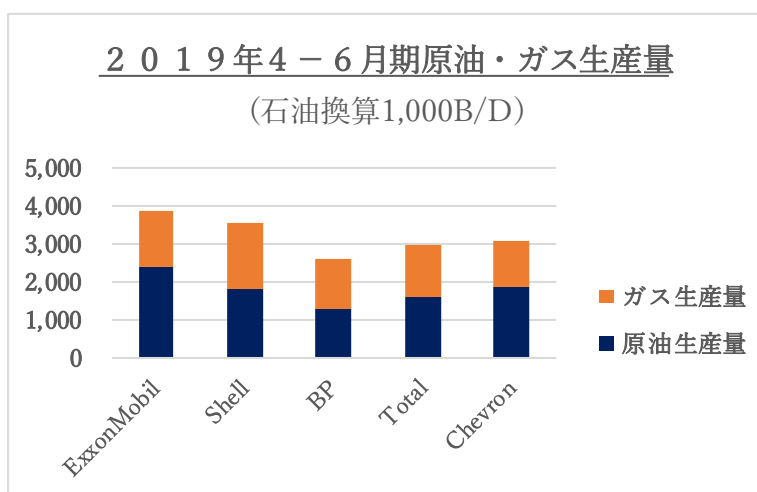
### (5) 設備投資



2019年4-6月期の設備投資額が最も多いのは ExxonMobil の81億ドル、これに次いで Chevron 53億ドル、Shell 52億ドルが並んでいる。BP 及び Total の設備投資額はそれぞれ38億ドル及び34億ドルであり、ExxonMobil の半分以下である。前年同期と比較すると Total が37%と増加率が最も高く、ExxonMobil は2割増、BP 及び

Chevron は1割増である。Shell はわずかではあるが前年同期を下回っている。

### (5) 原油・ガス生産量(末尾表 1-D-4-22 参照)



今年4-6月の原油生産量は ExxonMobil が平均日産量239万バレル(以下 B/D)で5社の中では最も多い。その他の4社はいずれも200万 B/D 未満で Chevron(186万 B/D)、Shell(184万 B/D)、Total 162万 B/D である。BP の原油生産量は5社の中で最も少ない130万 B/D で ExxonMobil の5割強にとどまっている。ExxonMobil は世界各地で

万遍なく原油生産をおこなっており他社を圧倒している。前年同期と比較すると5社はいずれも増加している。

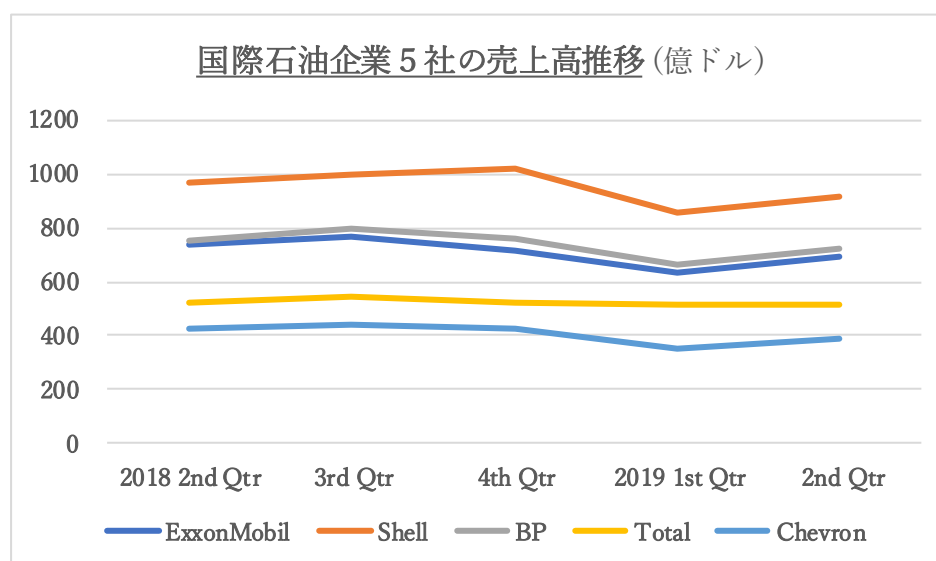
天然ガスの生産量は Shell1社のみ日産100億立方フィート(以下 cfd)を超えている。第2位の ExxonMobil は91億cfdであり、残る3社は BP が77億 cfd、Total 74億 cfd、Chevron 73億cfdであった。前年同期に比べるとTotal が20%と大幅に増加しており、天然ガス鉱区の開発或は買収を積極的に行った結果とみられる。

天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量では ExxonMobil は391万 B/D でこれに次ぐのが Shell の358万 B/D である。その他の3社は Chevron が308万 B/D、Total 296万 B/D、BP263万 B/D である。石油と天然ガスの比率を見ると、ExxonMobil は石油61%、天然ガス39%であり5社の中では石油の比率が最も高い。その他の各社の石油と天然ガスの比率は Chevron が石油60%:天然ガス40%、Total は石油55%:天然ガス45%である。Shell 及び BP は石油と天然ガスの比率がほぼ同じである。

## 2. 2018年第1四半期以降の四半期別業績の推移

五社の売上高、利益(全体、上流部門および下流部門)、設備投資、原油・天然ガス生産量に関する2018年4-6月期以降今期までの四半期ごとの業績推移は以下の通りである。

### (1) 売上高の推移



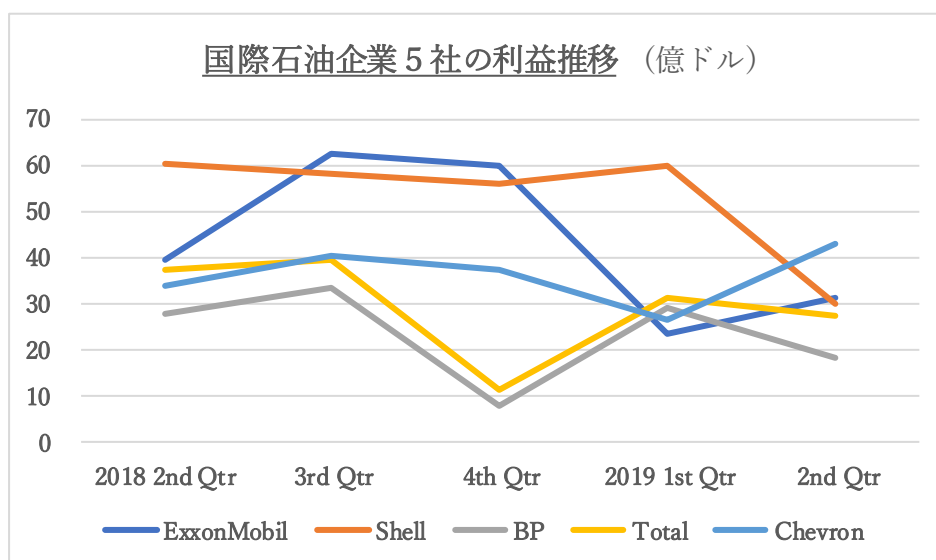
2018年第2四半期から2019年第2四半期に至る四半期ベースの売上高の推移は、この間の原油価格の変動と密接に関連している。Brent 原油の価格は2018年第2四半期の平均で1バレル74.39ドルであった。続く

第3四半期は75.16ドルとわずかながら上昇したが、第4四半期には68.81ドルに急落、今年第1四半期も63.13ドルに下落、下落幅は2期連続して8%以上を記録した。今年第2四半期の価格は昨年第4四半期まで戻っている。

ExxonMobil、BP 及び Chevron の売上高は上記の価格変動をそのまま反映しており、Shell の売上高もほぼ同じ傾向を示している。Total だけは過去1年間を通じて売り上げに殆ど変動がなく、原油価格に左右されない体質である。

各社の四半期ごとの推移を見ると売上高が最も多い Shell は968億ドル('18 2<sup>nd</sup> Qtr)→1,002億ドル(3<sup>rd</sup> Qtr)→1,022億ドル(4<sup>th</sup> Qtr)→857億ドル('19 1<sup>st</sup> Qtr)→918億ドル(2<sup>nd</sup> Qtr)であり、今年第1四半期に落ち込んだが他の四社を大きく引き離してトップを維持している。ExxonMobil と BP は全期を通じて殆ど差が無く、BP は754億ドル('18 2<sup>nd</sup> Qtr)→795億ドル(3<sup>rd</sup> Qtr)→757億ドル(4<sup>th</sup> Qtr)→663億ドル('19 1<sup>st</sup> Qtr)→727億ドル(2<sup>nd</sup> Qtr)、また ExxonMobil は735億ドル('18 2<sup>nd</sup> Qtr)→766億ドル(3<sup>rd</sup> Qtr)→719億ドル(4<sup>th</sup> Qtr)→636億ドル('19 1<sup>st</sup> Qtr)→691億ドル(2<sup>nd</sup> Qtr)であった。売上高4位の Total は510~550億ドルと年間を通じて殆ど増減がなく、売上高が最も少ない Chevron は422億ドル('18 2<sup>nd</sup> Qtr)→440億ドル(3<sup>rd</sup> Qtr)→424億ドル(4<sup>th</sup> Qtr)→352億ドル('19 1<sup>st</sup> Qtr)→389億ドル(2<sup>nd</sup> Qtr)であり、昨年は400億ドル台を維持したものの、今年は300億ドル台に転落している。

## (2) 利益の推移



過去1年間の四半期ごとの利益水準は各社によって異なるものの、いずれも欠損は出していない。

5社の中では Shell は60億ドル('18 2<sup>nd</sup> Qtr)→58億ドル(3<sup>rd</sup> Qtr)→56億ドル(4<sup>th</sup> Qtr)→60億ドル

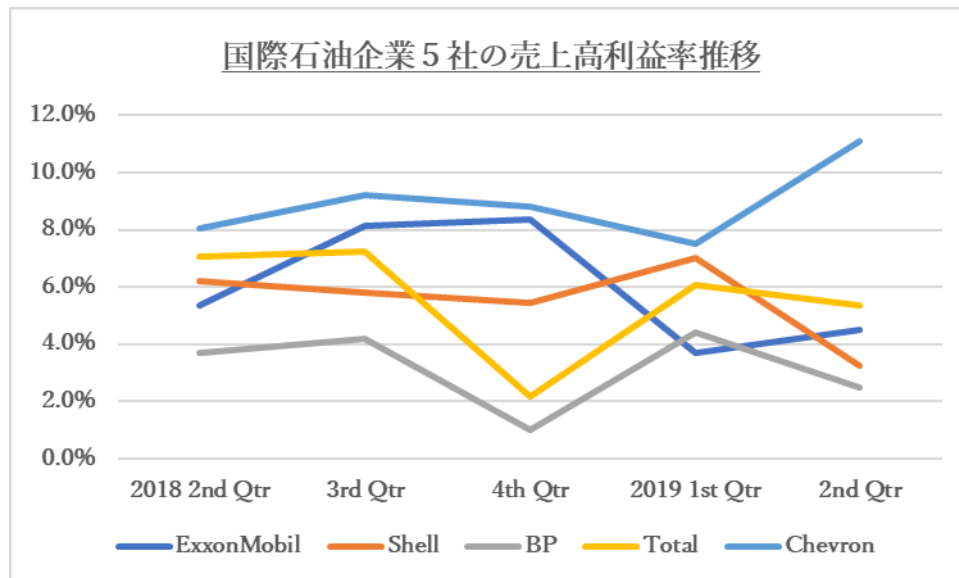
('19 1<sup>st</sup> Qtr)と昨年年初から今年初めまでコンスタントに60億ドル前後の利益を計上したが、今期は利益が30億ドルに半減し、5社中の3位に落ちている。ExxonMobil の昨年第2四半期の利益は40億ドルであったが、その後62億ドル(3<sup>rd</sup> Qtr)→60億ドル(4<sup>th</sup> Qtr)の利益を計上した。しかし今年に入り利益は24億ドル('19 1<sup>st</sup> Qtr)→31億ドル(2<sup>nd</sup> Qtr)に低迷、アップダウンの激しい1年であった。

BP と Total は年間を通じて同じような利益変動の曲線を描き、昨年第2、3四半期は30億ドル前後の利益を計上した後、第4四半期には10億ドル前後に急落、今年に入って持ち直している。Chevron は34億ドル('18 2<sup>nd</sup> Qtr)→40億ドル(3<sup>rd</sup> Qtr)→37億ドル(4<sup>th</sup> Qtr)→26億ドル('19 1<sup>st</sup> Qtr)→43億ドル(2<sup>nd</sup> Qtr)と5社の中では比較的安定している。

## (3) 売上高利益率の推移

1年前の昨年第2四半期の五社の利益率は Chevron が8.1%と最も高く、次いで Total 7.1%、Shell 6.2%、ExxonMobil 5.4%と続き、BP は最も低い3.7%にとどまっている。Chevron の利益

率はその後も9.2%('18 3rd Qtr)→8.8%(4th Qtr)→7.5%('19 1st Qtr)→11.1%(2nd Qtr)と高い水準を維持して常に5社のトップであり続け、特に今期は他社を大きく引き離す二桁の利益率を示している。

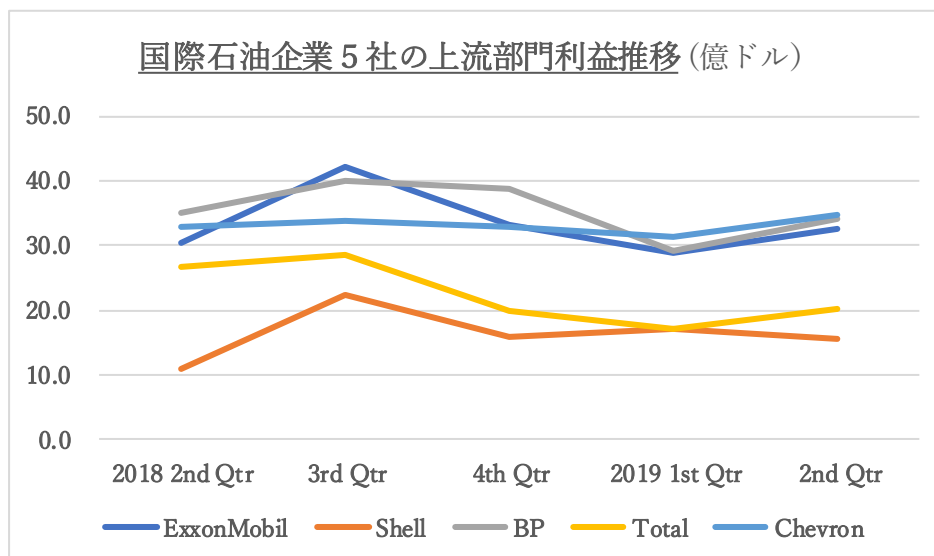


一方5社の中で利益率が最も低いのは BP であり、第3四半期以降も4.2%('18 3rd Qtr)→1.0%(4th Qtr)→4.4%('19 1st Qtr)→2.5%(2nd Qtr)にとどまり、今年第1四半期こそ ExxonMobil をわずかながら上回ったものの、その他の四半期の利益率は5社の中で最も低い。

(上流に弱く下流に強い Shell !)

#### (4)部門別利益の推移

##### (4-1)上流部門



前年の2018年第2四半期の各社の上流部門の利益が最も多かったのは BP の35億ドルであり、Chevron の33億ドル、ExxonMobil の30億ドルがこれに続いている。Total の利益額は27億ドルで5社の中で上流部門の

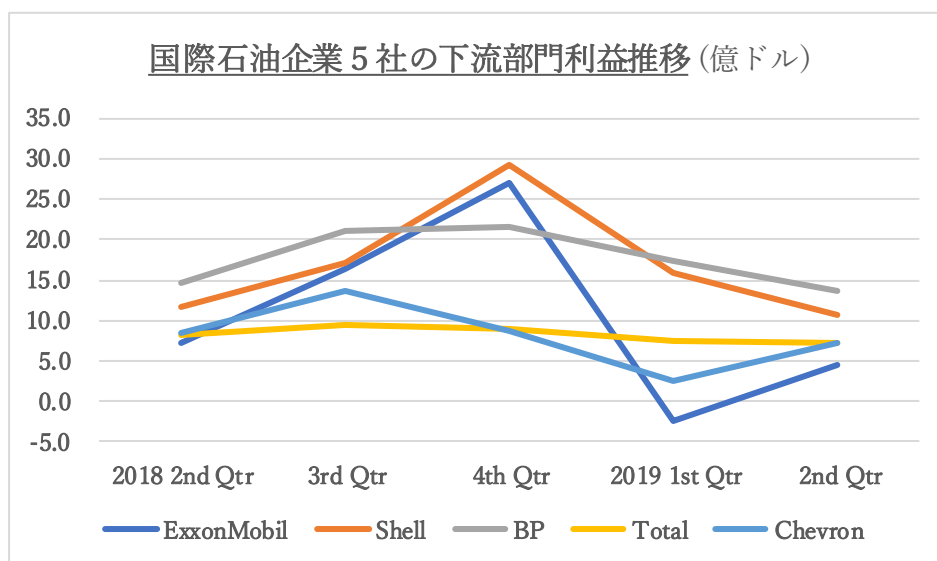
利益が最も少なかったのは Shell の11億ドルであった。

続く第3半期は ExxonMobil の利益が42億ドルに急増し5社のトップとなった。最下位の Shell も改善して23億ドルの利益を達成した。しかし第4四半期2019年第1四半期は各社とも連続して減益

となり、Chevron、BP 及び ExxonMobil が30億ドル前後で並び、Total 及び Shell の利益は17億ドルにとどまった。今期（第2四半期）の各社の利益水準はわずかながら改善しているが Shell のみは利益が低下している。

5四半期を通じて各社の上流部門の利益を比較すると、Shell が5社の中で最も利益水準が低く、同社の上流部門は他の4社に比べて見劣りがする。上流部門では ExxonMobil、BP、Chevron の3社がトップ争いを演じながら上位グループを形成し、Shell 及び Total が下位グループとなる状況が続いている。

#### (4-2) 下流部門



下流部門は2018年第2四半期から第4四半期までは全社が利益を計上していた。昨年第2四半期はBPが15億ドル、Shell が12億ドルの利益を計上、ExxonMobil、Total 及び Chevron の3社は7～8億ドルの利益水準であった。

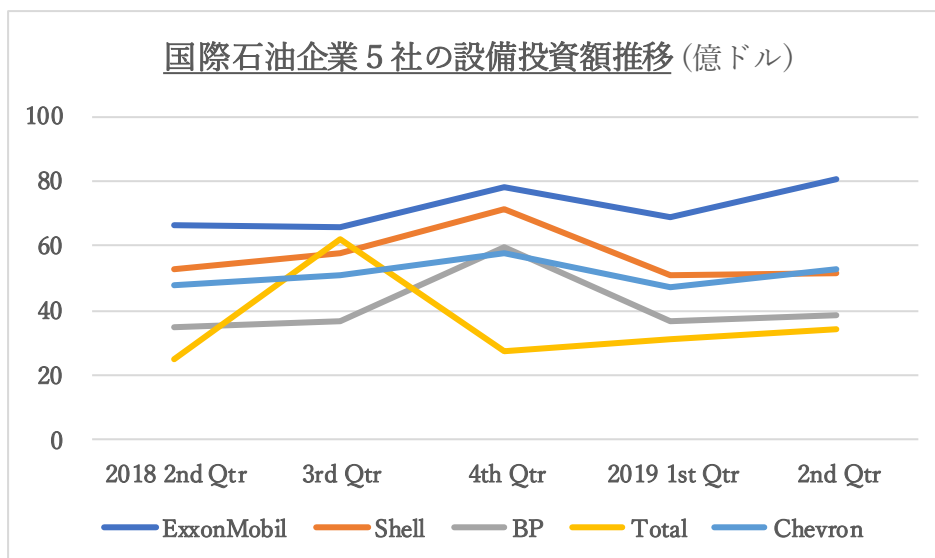
つた。続く第3及び第4四半期は Shell 及び ExxonMobil の利益が急騰 Chevron 及び Total は低迷した。しかし今年第1四半期には Shell 及び ExxonMobil の利益は急減、ExxonMobil は5社の中で唯一3億ドルの欠損となった。今期は各社の明暗が分かれ前期に比較的高い利益を計上した BP 及び Shell が減益になった一方、ExxonMobil 及び Chevron は増益となったため、5社の利益はほぼ一年前の水準に戻っている。

過去1年間を通じて下流部門の利益変動が最も大きかったのは ExxonMobil であり、2018年第2四半期の7.2億ドルから16.4億ドル('18 3rd Qtr)→27億ドル('18 4th Qtr)→▲2.6億ドル('19 1st Qtr)→4.5億ドル(2nd Qtr)と振幅が激しい。

#### (5) 設備投資の推移

5社の四半期ベースの設備投資額は ExxonMobil、Shell 及び Chevron が每期ほぼ安定した投資を行っている。各期の ExxonMobil の投資額は66億ドル('18 2nd Qtr)→66億ドル('18 3rd Qtr)→78億ドル('18 4th Qtr)→69億ドル('19 1st Qtr) →81億ドル(2nd Qtr)であり、全期を通じて常に5社で最大の投資を続けている。





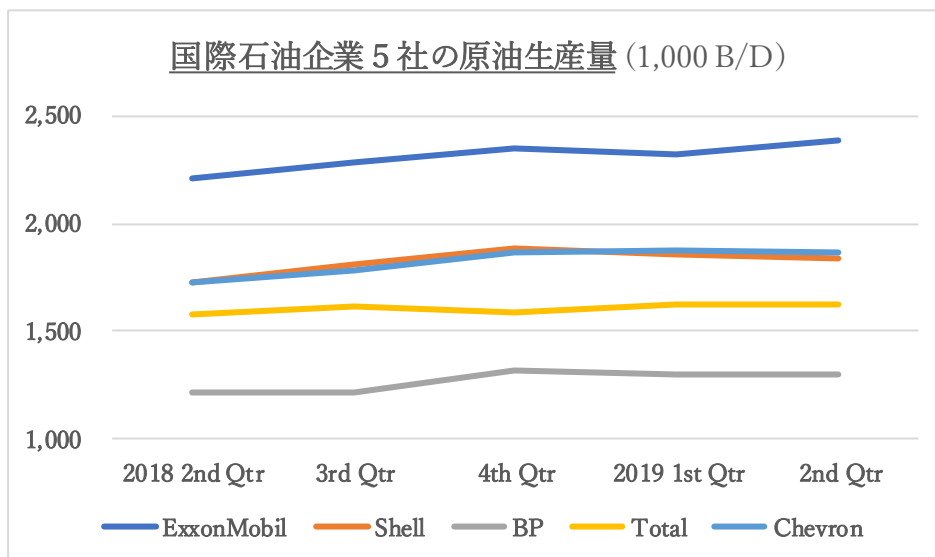
同社に次ぐ投資を行っているのは Shell であり、その金額は 53 億ドル('18 2nd Qtr)→58 億ドル('18 3rd Qtr)→71 億ドル('18 4th Qtr)→51 億ドル('19 1st Qtr) →52 億ドル(2nd Qtr)と推移している。Chevron の場合は毎期 50

億ドル前後でほぼ安定している。

Total の設備投資額は昨年第3四半期を除き5社中では最も少なく、25億ドル('18 2nd Qtr)→62億ドル('18 3rd Qtr)→27億ドル('18 4th Qtr)→31億ドル('19 1st Qtr) →34億ドル(2nd Qtr)である。

## (6)原油・天然ガス生産量の推移

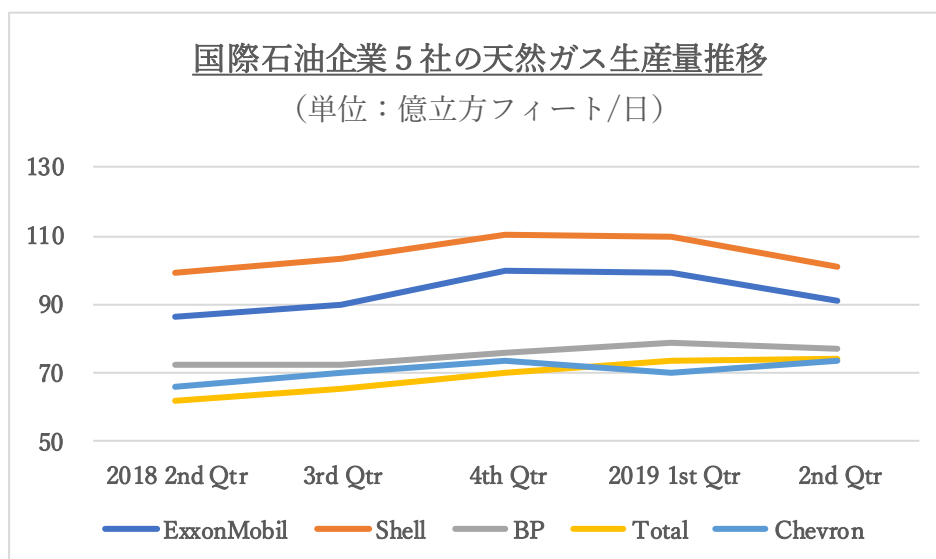
### (6-1)原油生産量



過去1年間の四半期ごとの原油生産量の推移を見ると ExxonMobil が他社を引き離して5期連続でトップを守っている。ExxonMobil の生産量は5社の中でただ1社200万 B/D 台を維持しており、今年第2四半期の生産量は

239万 B/D であった。ExxonMobil に次ぐ二番手グループは Shell と Chevron であり、両社の生産量は 180 万 B/D 台でほとんど同じである。Total は 2018 年第2四半期 158 万 B/D であったが、その後漸増し、現在は 162 万 B/D に達している。BP の 1 年前の生産量は 5 社の中で最も少ない 122 万 B/D でトップ ExxonMobil の 6 割であったが、その後も生産量は伸び悩み、今期は 130 万 B/D にとどまり他社との差は縮まらない。

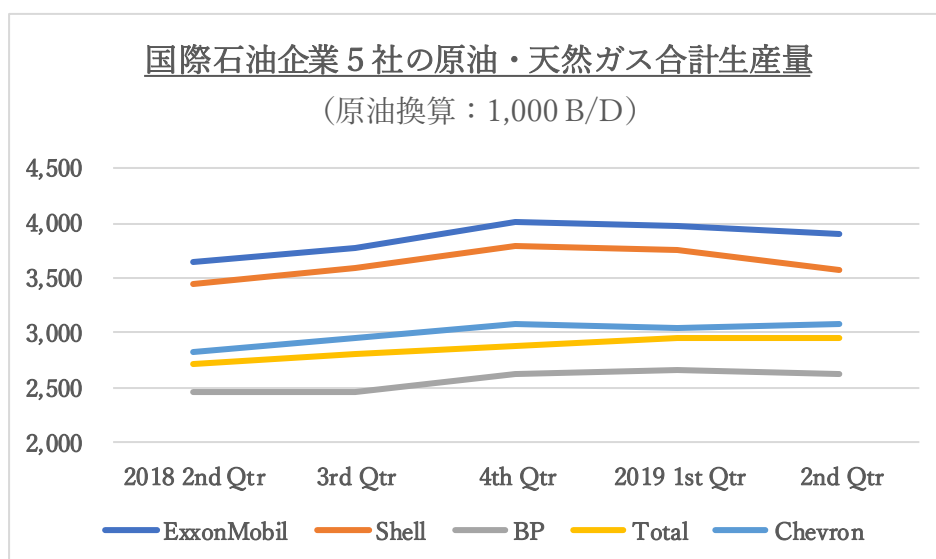
## (6-2) 天然ガス生産量



天然ガスの生産量は ExxonMobil と Shell の上位グループ2社と BP、Total、Chevron の下位グループ3社の2極に分かれている。Shell の過去1年間の生産量は99億立方フィート('18 2nd Qtr) → 104億立方フィート('18 3rd Qtr)

→ 110億立方フィート('18 4th Qtr) → 110億立方フィート('19 1st Qtr) → 101億立方フィート('19 2nd Qtr)である。2018年第4四半期ピークに達した後、今期は前年同期の水準に逆戻りしている。ExxonMobil も Shell とほぼ同様の軌跡をたどっており、両社の差は10億立方フィート前後で推移している。他の3社は5期を通じてわずかながらも増産傾向にあるが、その差は殆ど無く、60~70億立方フィート台を維持している。

## (6-3) 原油・天然ガス合計生産量



天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量の推移を見ると各社とも2018年第2四半期から第4四半期にかけて増産傾向が見られ、その後現在は停滞している。生産量が最も多いExxonMobil は石油換算で36

5万 B/D ('18 2nd Qtr) → 379万 B/D ('18 3rd Qtr) → 401万 B/D ('18 4th Qtr) → 398万 B/D ('19 1st Qtr) → 391万 B/D ('19 2nd Qtr)であり、これに次ぐ Shell の場合は ExxonMobil よりも20万 B/D 前後少ない344万 B/D ('18 2nd Qtr) → 360万 B/D ('18 3rd Qtr) → 379万 B/D ('18 4th Qtr) → 375万 B/D ('19 1st Qtr) → 358万 B/D ('19 2nd Qtr)で推移している。

Chevron の生産量は昨年第4四半期に300万 B/D の大台を超え現在に至っており、Total も272万 B/D ('18 2<sup>nd</sup> Qtr)→280万 B/D('18 3<sup>rd</sup> Qtr)→288万 B/D('18 4<sup>th</sup> Qtr)→295万 B/D('19 1<sup>st</sup> Qtr)→296万 B/D('19 2<sup>nd</sup> Qtr)と着実に生産を増やしており、300万 B/D 達成目前である。最も少ない BP の生産レベルは250～260万 B/D で ExxonMobil 或は Shell のほぼ7割である。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

## 2019年4-6月期国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2019年4-6月	69,091	91,838	72,676	51,242	38,850
	前年同期	73,501	96,765	75,439	52,540	42,236
	増減(%)	-6.0%	-5.1%	-3.7%	-2.5%	-8.0%
総合損益(百万ドル) (*)	2019年4-6月	3,130	2,998	1,822	2,756	4,305
	前年同期	3,950	6,024	2,799	3,721	3,409
	増減(%)	-20.8%	-50.2%	-34.9%	-25.9%	26.3%
上流部門損益(百万ドル)(*)	2019年4-6月	3,261	1,554	3,413	2,022	3,483
	前年同期	3,040	1,094	3,508	2,687	3,295
	増減(%)	7.3%	42.0%	-2.7%	-24.7%	5.7%
下流部門損益(百万ドル)(*)	2019年4-6月	451	1,072	1,365	715	729
	前年同期	724	1,168	1,455	821	838
	増減(%)	-37.7%	-8.2%	-6.2%	-12.9%	-13.0%
売上高利益率(%)	2019年4-6月	4.5%	3.3%	2.5%	5.4%	11.1%
	前年同期	5.4%	6.2%	3.7%	7.1%	8.1%
設備投資(百万ドル)	2019年4-6月	8,079	5,150	3,833	3,430	5,288
	前年同期	6,627	5,275	3,484	2,513	4,816
	増減(%)	21.9%	-2.4%	10.0%	36.5%	9.8%
原油生産量(1,000B/D)	2019年4-6月	2,389	1,842	1,301	1,624	1,863
	前年同期	2,212	1,730	1,217	1,582	1,723
	増減(%)	8.0%	6.5%	6.9%	2.7%	8.1%
ガス生産量(100万 cfd)	2019年4-6月	9,120	10,096	7,680	7,427	7,327
	前年同期	8,613	9,930	7,242	6,176	6,616
	増減(%)	5.9%	1.7%	6.0%	20.3%	10.7%
同石油換算(1,000B/D)	2019年4-6月	1,520	1,741	1,324	1,333	1,221
	前年同期	1,435	1,712	1,248	1,135	1,103
	増減(%)	5.9%	1.7%	6.1%	17.4%	10.7%
原油・ガス合計生産量 (石油換算 1,000B/D)	2019年4-6月	3,909	3,583	2,625	2,957	3,084
	前年同期	3,647	3,442	2,465	2,717	2,826
	増減(%)	7.2%	4.1%	6.5%	8.8%	9.1%

\* 総合損益には石油化学部門あるいはその他の損益を含むため、上流部門・下流部門損益の合計額とは一致しない場合がある。